

年間授業計画

足立東高等学校令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 国語探究

教科： 国語 科目： 国語探究 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第2学年1組～6組
 教科担当者： （1組：堀切）（2組：堀切）（3組：堀切）（4組：大野）（5組：大野）（6組：大野）
 使用教科書：
 科目の目標

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学期	単元:現代文の表現 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうという態度を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 作品の基本的な読み方を習得する。 筆者のものの見方や感じ方を理解する。 言葉を通じた他者理解についての筆者の考えを読み取ったうえで、自らの経験に照らして自分なりの言語観を修得する。 読書の意義や、読書と密接に関わる言葉の働きについて考察する。 実用的な文章の基本的な読み方を学ぶ。 「自校作成プリント」	○	○	○	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	26
2 学期	単元:文学的文章 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> 古文を学習する意義を理解し、古典に関する知識を学習する。 正しく音読し、傍訳と語注を参考にして現代語訳をする。 登場人物の行動やその背景にある心情について、自分の考えを発表したり文章で表現したりする。 漢文を学習する意義を認識する。 漢文の構造と訓読の方法について理解する。 漢語の構造に日本文と語順が同じものと語順が異なるものがあることを学び、文章の読み取りを行う。 「自校作成プリント」	○	○	○	【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	28
3 学期	単元:国語の表現について 【知識及び技能】 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> 適切な文を書くために、語句の使い方や文のくぎり方を正しく理解し、分かりやすい文章の書き表し方を学ぶ。 書き上げた文章を推敲するときの観点を具体的に学び、典型的な悪文について理解を深めることで、他者に理解されやすい文章の書き方を学ぶ。 人間関係における言葉の働きについて理解し、どのように言葉を受け止め、発していくべきかを考える。 総合的な音声言語表現であるプレゼンテーションの表現要素、評価の観点、情報の視覚化の方法を学ぶ。 「自校作成プリント」	○	○	○	【知識・技能】 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度をもっている。	○	○	○	16
合計										
合計									70	